

## 走行前ブリーフィング資料(KV-40・KV-BIKE共通)

### ■全般

- ・走行中は、必ず決められた服装(つなぎ服、靴)、装備品(ヘルメット、グローブ)、加えてKV-BIKEは肘当て・膝当てを着用すること。**特にヘルメットのあご紐は確実に締め付けること。**
- ・走行中、追い越しをする場合は前方車両の**左側**をゆるやかに追い越すこと。
- ・追い越しをする車両は、自車をさらに追い越してくる車両が来ていないか**バックミラー**で後方を確認すること。
- ・コース内の**縁石は凹凸形状となっている部分があり車両が著しく不安定になるため走行を控えること。**
- ・トラブル等で車両がストップしそうな場合、**コース上では停車せず、後方から来る車両に注意しながらコースのイン側(右側)の芝生(グリーン)に入り、車両を安全な位置で停止させて降車すること。**  
**降車後のドライバー・ライダーはヘルメットなど装備品を外さずにガードレールの外側へ退避すること。**
- ・走行不能となった車両は順次レッカー車で回収される。**回収した車両の引渡場所は第2パドックとする。**
- ・いかなる場合でもピットレーンでは車両を手押し、または台車へ乗せて移動させること。  
また、ピットレーンで停止したり作業をしたりする場合は、ピット前の白いコンクリート部分のみで行うこと。  
アスファルトの走行レーンは車両用の通路のため移動時以外は使用しないこと。
- ・走行中のアクシデントは全て自チームの責任とする。他チームとの接触などがある場合も、互いに責任を追究することなく、自己の責任をもって対応すること。
- ・すべての参加者はマスクを着用し、こまめな手指消毒を行うとともにその他感染症予防対策に努めること。  
なおドライバー・ライダーは走行中のマスク着用を不要とするが、トラブルで車両をコース上で停車させ、オフィシャルと接触する際に速やかに着用できるよう、乗車中もマスクを携帯すること。
- ・路面温度の上昇が予想されるため、タイヤの空気圧に十分注意すること。
- ・走行中の降雨に備え、スクリーンの外側の撥水、スクリーン内の曇り止め、取外しのほか、電気系統の水濡れ対策などを事前に施しておくこと。
- ・水分および塩分の適切な摂取や十分な休憩をとることを意識し、熱中症対策を行うこと。

### ■コースウォーク 10:00～10:45(※最終コースイン時刻10:35)

- ・**徒歩のみ**でコース確認を行うこと。自転車、キックボード、その他いかなる乗り物も使用不可。
- ・ドライバー・ライダーはブリーフィングで伝えたポイントを必ずコースウォークで確認すること。

■試走会 ONE LAP タイムアタック KV-40 11:00～11:30 / KV-BIKE 11:45～12:10

- ・ピットレーンを手押しでスタート位置まで移動すること。
- ・走行準備を整えたうえでSTARTラインの手前で一時停止。  
オフィシャル(係員)が日章旗を振り上げたことを確認して走行を開始すること。
- ・スタート直後はパイロンラインのイン側(右側)を走行し、その後は後方からの車両に注意して走行すること。
- ・「5番ポスト」先の右コーナー(3番目のコーナー)は特に注意して走行すること。
  - ① 進入時は前方の車両がブレーキをかけているため、追突がないよう十分注意すること。
  - ② コース幅が狭く、下りながらカーブする見通しの悪い箇所があるため、速度と他車との距離に注意し接触や横転、追突がないよう十分注意すること。
  - ③ 3番目のコーナー～最終コーナーにかけて路面の $\mu$ (ミュー:摩擦係数)が低くスピンやオーバーランの可能性があるため、急ハンドルや急制動を行わないよう十分に注意して走行すること。
- ・1周ごとに必ずピットへ戻ること。連続周回は禁止する。
- ・ゴール車両はFINISHラインを通過し、2番ポスト手前の待機エリアで停車すること。  
その後オフィシャルの合図によりコースを横断・Uターンし、芝生(グリーン)を横断してオレンジ色のガードレールからコース外周路へ入り、ピットへ戻ること。  
なおゴール車両の補助を行うメカニックは、ピットレーン出口からコース脇の道を進み、オレンジ色ガードレールの手前側で自チーム車両の到着を待つこと。  
(図1参照)



図1 ONE LAPタイムアタック ゴール車両補助メカニックの導線

コース脇の道を進み、  
2番ポスト向かいの待機エリアへ

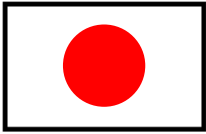
■試走会 ロングディスタンス KV-40 13:30～15:00 / KV-BIKE 15:15～16:15

- ・ピットレーンを手押しで、スタート位置まで移動すること。  
その際、ピットイン車両と接触しないよう、十分注意すること。
- ・各時間帯とも、走行終了10分前以降は出走できないため注意すること。
- ・走行準備を整えたうえでSTARTラインの手前で一時停止。  
前車との距離を十分に確保したうえで各自スタートしてコースインすること。
- ・スタート直後はパイロンのイン側(右側)を走行し、その後は後方からの車両に注意して走行すること。
- ・「5番ポスト」先の右コーナー(3番目のコーナー)は特に注意して走行すること。
  - ① 進入時は前方の車両がブレーキをかけているため、追突がないよう十分注意すること。
  - ② コース幅が狭く、下りながらカーブする見通しの悪い箇所があるため、速度と他車との距離に注意し接触や横転、追突がないよう十分注意すること。
  - ③ 3番目のコーナー～最終コーナーにかけて路面の $\mu$ (ミュー:摩擦係数)が低くスピンやオーバーランの可能性があるため、急ハンドルや急制動を行わないよう十分に注意して走行すること。
- ・最終コーナーへ進入する前に、連続周回をする車両はアウト側(左側)、ピットへ戻る車両はイン側(右側)へ予め車両を寄せて走行すること。
- ・連続周回をする車両はコースイン車両と接触しないよう十分注意すること。
- ・連続周回をしない、または連続周回を終える車両はピットインレーンよりピットへ戻ること。  
※ONE LAPタイムアタックとはピットへ戻る方法が異なるため注意。
- ・チェッカー後はFINISHラインを通過し、それぞれ下記方法にてピットへ戻ること。
  - ▶KV-40: 2番ポスト手前の待機エリアで停車。  
その後オフィシャルの合図によりコースを横断・Uターンし、コース逆走でピットレーン出口からピットへ戻る。  
なおチェッカーを受けた車両の補助を行うメカニックは、ピットレーン出口からコース脇の道を進み、オレンジ色ガードレールの手前側で自チーム車両の到着を待つこと。
  - ▶KV-BIKE: パイロンの間よりUターンをして、ピットレーン逆走でピットへ戻る。  
(走行手順・コースレイアウト参照)

■ 走行中に表示するフラッグ(旗)

特別規則書、第2章 第10条 本競技会に使用するフラッグとその意味を理解し、フラッグの指示に従うこと。

【日章旗】…………… 走行スタート合図の旗。



【イエローフラッグ(黄旗)】…………… 前方に低速車または停止車両あり。前方に十分注意して走行。



【レッドフラッグ(赤旗)】…………… 走行の中断。ドライバーは直ちに速度を落とし、必要に応じて停車できる準備をしながら  
ONE LAPの場合…ゴール地点まで  
ロングディスタンスの場合…ピットまで  
それぞれ戻ること。



【チェッカーフラッグ】…………… 走行終了。チェッカーフラッグを受けた車両はそれぞれ指定された方法でピットへ戻ること。

